

# 平成28年度出前講座の紹介



(一社)東北地質調査業協会 技術委員長 **新田 洋一**

## 1. はじめに

(一社)東北地質調査業協会では、地域の地盤・地質に精通した技術者集団として様々な活動を行っています。その中の一つとして、技術委員会では外部の講習会へ講師の派遣等を担当しています。

平成28年度は、次の二つの「出前講座」を担当しました。

- (1) 仙台市立仙台工業高校にて地質調査に関する理解を深めてもらう講習
- (2) 宮城県土木部職員研修として地質・土質調査や試験に関する専門知識の講習

## 2. 仙台市立仙台工業高校での出前講座

仙台工業高校からの依頼により、定時制課程と全日制課程の高校生を対象としてそれぞれ1回、計2回の講義と実習を行いました。

### (1) 定時制課程

建築土木科の1学年11名の方を対象に「デュアルシステムものづくり人材育成推進事業－地質調査の実際－」として平成28年7月13日17時30分から実施しました。

筆者は初めに、①「地質」って何、②岩石や土はどういうもの、として地質の基礎について講義しました。その後、③地質調査の方法とはどういうものなのか、調査結果はどのようにまとめるのか、更に最近の出来事として、④熊本地震と活断層、⑤仙台工業高校近くの活断層などを紹介し、将来建築や土木の仕事に携わるか、自分の家を建てる時に注意しなければならない事などをお話しました。

講義の後は、株式会社テクノ長谷のご協力により、ボーリング調査の野外実習を行いました。実習では実際にボーリングマシンを用いて校庭を掘進し、コアを採取して、コアによる地質の見方を学びました。

### (2) 全日制課程

土木科の1学年30名の方を対象に「地質調査講習会」として平成28年10月19日9時から実施しました。

講義は、定時制と同じ内容で筆者が行いました。

その後、野外実習として、グラウンドにて表面波探査とボーリング調査を行いました。表面波探査は応用地質株式会社、ボーリング調査は株式会社テクノ長谷が担当しました。

実際に測線の設定、ハンマーでの起振、得られたデータの確認、探査の原理や方法などを体験し学びました。ボーリング調査では実際にコア試料を採取し、コアの観察、現場記録写真の撮影などを体験しました。

## 3. 宮城県土木部職員研修での出前講座

宮城県土木部からのご依頼により、宮城県土木部職員29名と仙台市や石巻市などの市町村職員の34名、計63名の方を対象に「土木部職員研修－地質・土質基礎講座」として平成28年10月7日10時から実施しました。

研修のカリキュラムと講義の担当者は次のとおりです。

- ① 地質調査の意義、土と岩の特性  
(株)ダイヤコンサルタント東北支社 執行役員東北支社長 秋山純一様
- ② 地質調査(岩盤編)  
(株)アサノ大成基礎エンジニアリング地盤技術事業部 渡辺平太郎様
- ③ 地質調査(土質編)  
応用地質(株)東北支社ジオテクニカルセンターグループマネージャー 正岡裕之様
- ④ 土質試験、設計用地盤定数  
(株)復建技術コンサルタント調査保全部主任技師 佐藤 淳様

- ⑤ 実習（実物のコア観察により実施）  
 （株）テクノ長谷 技術部リーダー  
 本田仁宏様  
 （株）復建技術コンサルタント調査保  
 全部 小原茂樹様  
 コアの実物を直接手に触れて観察する  
 事は大変好評でした。

#### 4. おわりに

高校生への出前講義は地質調査業の認知度を上げるためや、地質調査の大切さ

を知ってもらうために毎年実施しています。出前講座の実施に当たりましては、会員企業各社のご協力が不可欠です。

震災復興業務多忙の中、ご協力を頂きました株式会社テクノ長谷、応用地質株式会社、株式会社ダイヤコンサルタント、株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング、株式会社復建技術コンサルタント、各社の講師の皆様には厚く御礼を申し上げます。次第であります。

### 【仙台市立仙台工業高校の出前講座の様子】



高橋和幸理事長挨拶



講義の様子



ボーリング実習状況



表面波探査実習状況

.....

### 【宮城県土木部職員研修の出前講座の様子】



講習の状況



講習の状況



ボーリングコア観察状況



ボーリングコア観察状況